

NYの日本人混声合唱団「とも」 県おかあさん合唱祭に出演へ

アメリカのニューヨークで活動する日本人らによる混声合唱団「ジャパン・コーラル・ハーモニーとも」は十二日、福島市音楽堂で開かれる県おかあさん合唱祭に出演する。昨年、ニューヨークの合唱祭で県おかあさん合唱連盟と「とも」が共演したのが縁で、「とも」音楽監督の白田正樹さんが、福島のことを見てほしいと仲間呼びをかけた。福島を思う歌声が海を越えて再び一つになる。



県おかあさん合唱祭に出演する「ジャパン・コーラル・ハーモニーとも」。前列の中央右は白田さん

出演する「とも」の団員は約二十人。連盟がニューヨークのカーネギーホールで披露した「そして、春、福島から世界へ」(作詞・黛まどかさん、作曲・千住明さん)などを歌う。市内の子どもたちと一緒にステージに立つほか、全員で連盟創立五十周年記念愛唱

県おかあさん合唱祭
県内の女声合唱団が集う年に一度の公演。県おかあさん合唱連盟が創設された昭和41年から欠かさず続いてきた。今年50回目の節目となり、「とも」を加え34団体が出演する。開会は午前9時30分。入場無料。問い合わせは同連盟 電話024(531)2138へ。

は復興の道を歩む県民に向け「いつも応援している。仲間が海の方こうにいることを忘れないでほしい」と話す。連盟の三宅祐子会長は「昨年は温かく迎えていただいた上に、今年も来ていただくことになり、感激している。絆がいつまでも続けばいい」と願う。

曲「にじ」を歌い、心を合わせる。「とも」は、団長の阿部友子さんがいわき市出身、ピアノの阿部公美さんが相馬地方出身で、ニューヨーク県人会代表でいわき市出身の藤田小夜子さんもメンバーになっている。父親がいわき市に住んでいる白田さん

興特別大使」に委嘱した。合唱祭前日に飯館中を訪問

訪問は、白田さんが俳人の黛まどかさんに、本県関係者に出演してほしいと相談したこと

ニューヨークを訪問した村内外の女声合唱団員が共演する。黛さんも参加し、村の美しい四季を詠んだ俳句を披露する。

共演する福島の小中学生を指導する「とも」の吉住さん



「とも」と共演する子どもたちを指導する吉住さん(右)

約二十人を指導した。吉住さんは一緒に歌う「トレロ・カモミロ」のダンスや歌い方を熱心に教えた。合唱祭に向け「子どもたちは未来の象徴。元気に楽しく歌ってほしい」と笑顔を見せた。

日野町にある飯館村の飯館中を訪問し、ミニコンサートを開く。席上、ニューヨークの児童が福島の子どもたちを思って詠んだ俳句約二十句や、寄付金を村に贈呈する。昨年